

第37回 KITライフサイエンスセミナー

トランスポゾンとゲノム可塑性 - ショウジョウバエの P エlement -

Transposons and plasticity of genome - P elements in *Drosophila* -

伊藤 雅信

京都工芸繊維大学応用生物学系・教授
(応用ゲノミクス教育研究分野)

日時：2021年11月24日(水)12:10 - 13:10

会場：京都工繊大 60周年記念館 1 階ホール

対象：教職員・学生・一般の方

真核生物のゲノムは、多様なトランスポゾン(動く遺伝子、または転移因子)を含んでいる。定まった遺伝子座をもたず、転移によりコピー数を増加させるトランスポゾンは、多くの場合、挿入点近傍遺伝子の発現不全や機能障害をもたらす。一方、トランスポゾンは種の壁を越えて伝播することもできる。新たな遺伝子プールに侵入したトランスポゾンの動態は、感染性生物の生存戦略と共通点が多く、利己的な寄生性遺伝因子としての理解が進みつつある。

ショウジョウバエの P エlementに関し、演者らの研究を中心に、トランスポゾンがもたらす変異、転移制御メカニズム、構造多型、ショウジョウバエ種群における最近の動態などを紹介し、トランスポゾンの進化的運命、宿主ゲノムとの関連について考察する。



連絡先 国立大学法人・京都工芸繊維大学・応用生物学系
☎606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町
Tel. 075-724-7799、e-mail. bio_office@kit.ac.jp

事前登録無用
参加費無料

